くらうどーる連載 1st

大塚商会のサブスクリプションビジネスサポート

くらうどーるで、課金ビジネスを始めよう!

大塚商会BP事業部は、今後、需要が拡大するサブスクリプションビジネスで、パートナー様を支援するコマースプラットフォーム「くらうどーる:Cloud-All」の運用を開始した。将来的には、エンドユーザー様向けECサイト(クラウドサービスStore)とパートナー様向けサイト管理機能を融合させる「くらうどーるコマースプラットフォーム」。スタート当初は、日本マイクロソフトの「Office 365」の購入や課金管理を中心に運用が始まっている。

ソフトウェアのサービスモデル化が止まらない

ここ数年で、日本のソフトウェアライセンスの販売モデルは、永久ライセンスをパッケージで販売する物販モデルから、ダウンロード提供による月額課金モデルであるサブスクリプションへと大きな変化を遂げている。

例えば、日本マイクロソフトのOffice Suite製品は、クラウドサービスのOffice 365として日本市場に急速に広まっている。同社の発表によると、Office 365は、パブリッククラウドの平均的な成長率である27%の3倍の成長を遂げているというから驚きだ。

このサブスクリプションによるソフトウェアの利用は、必要なライセンスを必要な数、必要な期間で利用できるといった柔軟な運用はもちろん、初期の設備投資が比較的低コストで、利用コストも経費計上できるといった、さまざまなメリットがある。その反面、課金確認やライセンスの管理が非常に煩雑となり、既存のアナログ的な管理方法では、事実上、管理できないといった課題があった。この課題を解決する方法が、管理サイトを利用した手法で、例えば、日本マイクロソフトは「Office 365ポータル」を用意し、このサイトでアカウント発行やライセンスの割り当て、利用状況の確認などが行える。

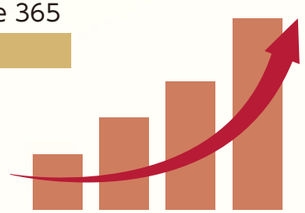
しかし、業務で利用するソフトごとに専用の管理サイトをコントロールするのは、負荷が高く効率もよくない。そこで大塚商会は、これらの管理サイトを取りまとめるコマースサイトを構想し、マルチベンダーによるサブスクリプションサービスを一括提供するための計画を推し進めている。これが「くらうどーる:Cloud-All」という構想で、この春、実際にサブスクリプションの購入や課金管理のできるポータルサイト「くらうどーるコマースプラットフォーム」の運用を開始した。

◆日本市場で急速に広まるOffice 365

市場を上回る成長

パブリッククラウドの成長率である27%の

3倍の成長



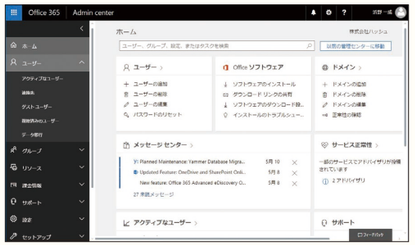
Officeもクラウドがスタンダードに

Officeもクラウドがスタンダードに
エンタープライズの

過半数が
Office 365 ProPlusを選択

◆Office 365ポータル

Office 365のアカウント発行やライセンスの割り当て、利用状況の確認などが行える管理サイト。現在は、こちらのサイトと併用して管理を行うが、将来的には、「くらうどーるコマースプラットフォーム」がその役割を担う予定だ。



◆クラウドサポートセンター

エンドユーザー様に向けたサポートサイト。各種のマニュアルなどの資料のダウンロードや管理サイトへのリンクが利用できる。

パートナー様の課金ビジネスの切り札としてご活用いただきたい

通常パートナー様がサブスクリプションビジネスを始めようとした場合、ライセンスの販売や管理を行うポータルサイトが必要となる。これらの環境をパートナー様が用意するには、高額な設備投資やソフトベンダーとの契約が必要となる。ベンダーによっては、専用のサポート体制が必要であったり、年間の売り上げ保証が契約に盛り込まれるなど、厳しい条件が課せられる場合もある。

「くらうどーる:Cloud-All」は、大塚商会でパートナービジネスに必要な条件や設備投資をクリアし、パートナー様には、できるだけリスクを少なくクラウドビジネスに注力していただくことを目標にしている。

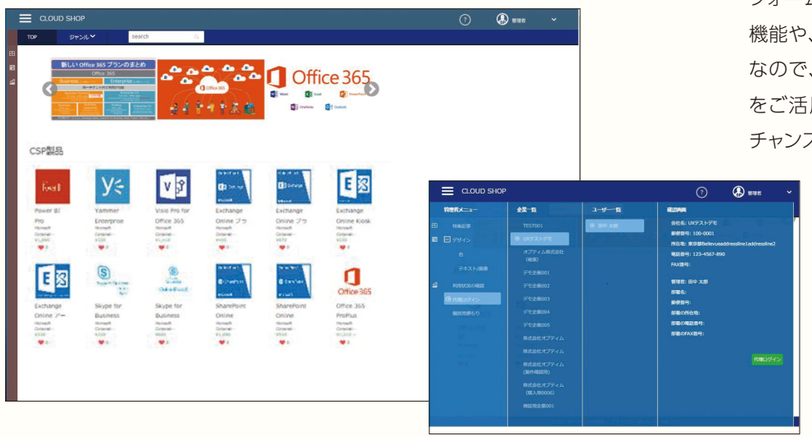
将来的には、さまざまなサブスクリプションの購入から運用をワンストップでパートナー様に活用していただく予定の「くらうどーるコマースプラットフォーム」だが、スタート時は、限定された機能のテスト&トライによる運用となる。現状は、日本マイクロソフトの「Office 365」の購入や課金管理を中心に運用が始まっている。

Office 365は、オープンライセンスでも販売できるサービスだが、「くらうどーるコマースプラットフォーム」を利用することで、パートナー様の課金管理業務が格段に効率化される。

この夏から取り扱いが予定されている「Azure」関連製品は、オープンライセンスで販売する場合、プリペイド方式による課金となり、管理業務はとても複雑だ。「くらうどーるコマースプラットフォーム」なら、利用状況の確認やライセンスの確認、新規購入まで、一目瞭然だ。

今後、「くらうどーるコマースプラットフォーム」は、日々進化を遂げ、新しい機能や、新しい商材を追加していく予定なので、ぜひ、大塚商会のくらうどーるをご活用いただき、新しいビジネスのチャンスをつかんでいただきたい。BP

◆くらうどーるコマースプラットフォーム



将来的には、マルチベンダーによるサブスクリプションサービスを一括提供する。現状は、日本マイクロソフトの「Office 365」の購入や課金管理を中心に運用が始まっている。
※画面は開発中のものです。